

インターネット上の情報の信ぴょう性について

インターネットは情報収集ツールとして、幅広い世代に受け入れられています。調べ物をしたいときは、キーワードを打ち込んで検索すれば、それに関連した情報を見ることができますし、いつでも最新のニュースをチェックすることもでき、とても便利です。

しかし、情報収集ツールとしてのインターネットには、デメリットもあります。それは、情報の信ぴょう性が薄いという点です。

なぜインターネット上の情報は信ぴょう性が薄いのか

インターネット上の情報は、なぜ信ぴょう性が薄いのでしょうか。それは、インターネットが誰でも自由に情報を発信できるメディアであるということと関係しています。テレビや新聞などと違い、誰もが情報発信者になってしまうので、正しいかどうかわからない情報を発信したり、わざと間違っただけの情報を発信したりする人も出てきてしまうのです。

インターネットに投稿された間違っただけの情報が拡散され、問題となることもあります。特にそんな事態が目立つのが、災害発生時です。過去に大きな災害が発生した際、不安をおおるような投稿がインターネット上で拡散され、多くの人が混乱する事態が発生しました。

災害時にインターネット上で拡散された間違っただけの情報



【拡散希望】

□□の爆発により、有害物質が雨などと一緒に降るので、身体が雨に接触しないようにして下さい！



うちの近くの動物園からライオン放たれたんだが○○地域



こうした情報は人命や健康にかかわるものであるため、多くの人が善意から拡散しました。しかし、その情報が正しいかどうかを確認せずに広めたため、結果的に混乱を深めてしまいました。

インターネットで情報収集する際のポイント

インターネットを使って情報収集する際は、以下のようなポイントに気をつける必要があります。

- ・ その情報が古いものではないか、情報が掲載された日付を確認する
- ・ 情報が掲載されているサイトや、情報の提供元が信頼できるかどうかを確認する
- ・ インターネットだけを見てその情報を判断せず、テレビやラジオ、新聞、書籍など複数のメディアから情報を集める
- ・ 正しいかどうかわからない情報は絶対に広めない

インターネットはとても便利な情報収集ツールである反面、情報の信ぴょう性が薄いというデメリットもあるということ子どもたちに理解させ、インターネット上の情報をそのままのみならず、自分で情報の正しさを確認するように指導していくことが大切です。